

麻酔科蘇生科女性医師

藤井 園子 助教、北村 咲子 助教インタビュー

～お互いにフォローされ、フォローすることが、当科の共通認識～

麻酔科蘇生科は女性医師が多く、総勢32人中、14人が女性です。大学院生等を除けば半数以上が女性で、そのうち6人の女性医師が子育て真っ只中です。

当科の方針で、子育て中や結婚した女性医師を当院に集中し、母集団を大きくしたことで、同じ境遇の医師が増えました。それにより互いの立場がよく理解でき、協力し合う環境ができています。子育てが落ち着いた医師は、科の協力があって今まで頑張ってきたから、次は自分が頑張ることで後輩らが働きやすい環境にしたいと考えます。お互いに融通し合い、自分ができるときは自分が頑張り、できないときはお願いするということが科の共通認識になり、今も大事にされています。

科の協力体制は整っていますが、私たちが医学部1～2年生の女子学生と交流するマドンナ会では「家族を抱えて働くことはできるけど、本人次第であり、楽なことではない」と伝えていきます。結婚や子育てと専門医資格取得の時期が重なり、焦る医師もいますが、資格は何年かけて取得してもいいと思います。これからは、後輩らが自己のキャリアについて、長期的な視野で考えられるような体制作りをめたいです。



藤井助教（右）、北村助教（左）